

蜂谷葉子 & 大岡真紀子

Piano Duo

Program

タイユフェール G. Taillefer
野外遊戯 Joux de Plein Air

ブゾーニ F. Busoni
モーツァルトの「ピアノ協奏曲第19番 KV459」の終曲による協奏的小二重奏曲
Quintette concertante nach dem Finale aus K. A. Mozarts Klavierkonzert F.dur KV459

プーランク F. Poulenc
2台のピアノと管弦楽のための協奏曲二短調（作曲者による2台ピアノ版）
Concerto en ré mineur pour deux pianos et orchestre (réduction pour deux pianos par l'auteur)

ファリャ M. de Falla
交響的印象「スペインの庭の夜」
"Noites dans les jardins d'Espagne" Impressions symphoniques pour piano et orchestre
(réduction de l'orchestre pour un deuxième piano à 4 mains par Gustav Sargzevitch)

アルベニス J. Albéniz
「イベリア」より Iberia
トゥリアナ（グラナドス編）Trianá (transcrit par C. Granados)
ラヴァピエス（ラローチャ編）Lavapiés (transcrit par A. de Larrocha)
ナヴァーラ（E. マーシャル編）Navarra (transcrit par F. Marshall)

2026

東京公演 **9.19** 15:00開演（14:30開場）
ピアノデュオコンサートシリーズ vol.20

[sat] 加賀町ホール（東京都新宿区市谷加賀町 2-5-26）
大江戸線「牛込柳町駅」から徒歩5分（妻千家東京出張所の隣）

兵庫公演 **10.1** 19:00開演（18:30開場）
ピアノデュオの魅力 vol.20

[thu] 兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
阪急電車神戸線「西宮北口」南改札口より連絡通路すぐ

入場料 ¥3,000（全席自由）※4才以下のお子様のご入場はご遠慮下さい

エスプリと情熱
鍵盤を駆け巡る光と影



蜂谷葉子 & 大岡真紀子 プロフィール

京都市立芸術大学卒業。その後それぞれフランス、アメリカなどで研鑽を積みながら、ソロリサイタルの他、オーケストラ、器楽、声楽とのアンサンブルなど様々な形で演奏活動を展開。2003年よりデュオ活動を開始。四手ならではの“ピアノが表現し得る新たな音の世界”を探索すべく、四手連弾、二台ピアノ用オリジナル作品に加え、オーケストラ作品の編曲ものや様々なジャンルの曲を手がけてきた。大阪、京都、東京、長野にて重ねてきた公演は140回を超える。リサイタル「ピアノデュオの魅力」シリーズとして2006年、そして2008年以降毎年秋に京都・青山音楽記念館及び兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホールにて公演を開催。コンセプトのあるプログラムも含め、好評を博す。本シリーズ番外編、2人のソロによる「モンボウ歌と踊り」全曲演奏会を2012年5月に、続いて2014年5月に本編vol.7の姉妹版でもある番外編vol.2「もうひとつの顔〜ラヴェルの作品とその周辺〜」を開催。また2008年に大阪で立ち上げた「ピアノデュオコンサートシリーズ」は2010年より場所を東京に移し毎秋開催。トークを交えたこのシリーズは「ピアノデュオの魅力」とは違った角度からのフレンドリーなコンサートとして定着している。2022年1月には大阪・寝屋川市のアルカスホール自主事業公演として「華麗なるピアノデュオの調べ」、2025年1月には大阪・阪南市立文化センターサラダホール開館35周年記念事業として「2台ピアノによる華麗なる音楽絵巻」を開催。ライブ感溢れるコンサート作りを目指す2人のデュオは、常に現在進行形。

【チケットお取扱い】 TIGET 右のQRコードを読み取りログインせずに受付フォームから、或いはTIGETサイトにて「ドゥーピアノムジーク」で検索、チケット受付フォームに進んでご予約下さい

【主催・お問合わせ】 ドゥーピアノムジーク ☎deuxpianos.musique@gmail.com

【後援】 京都市立芸術大学音楽学部同窓会真声会・真声会京都支部・真声会大阪支部
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

【フライヤー制作】 アトリエモリス音楽事務所

